

【特別講演会】 ポーとホーソン ——モダニズム前史

講師：藤村 希（亜細亜大学准教授）

司会：巽 孝之（本塾文学部教授）

＜日時＞

2019年7月9日（火）
14時45分～16時15分

＜場所＞

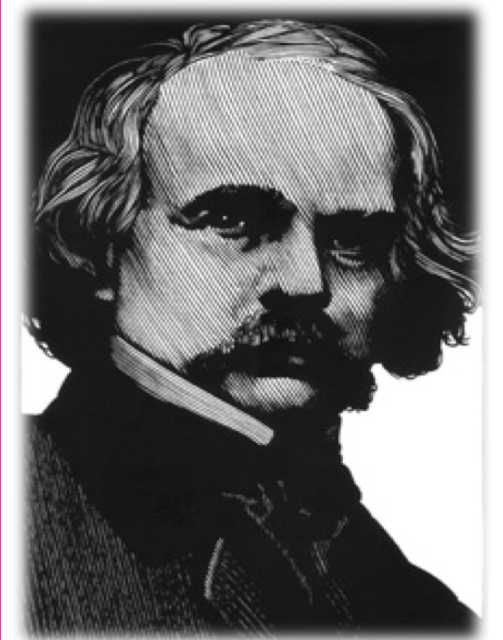
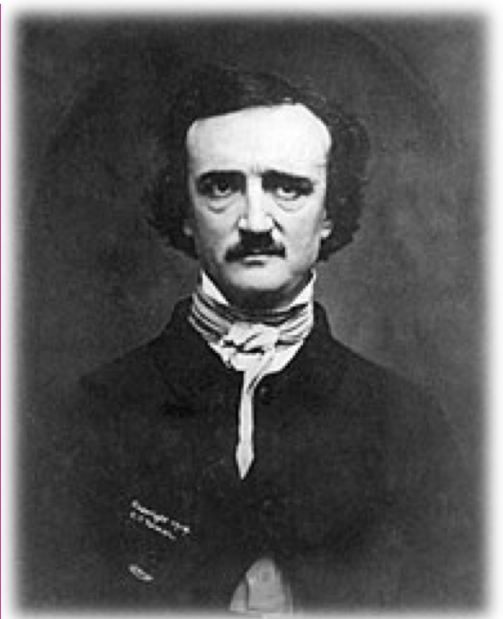
慶應義塾大学三田キャンパス
西校舎515教室 *入場無料・予約不要



◆講師紹介 藤村 希◆

アメリカ文学専攻。立教大学文学部英米文学専攻卒業、立教大学大学院文学研究科英米文学専攻博士前期課程修了。フルブライト奨学生としてニューヨーク州立大学バッファロー校大学院英文学専攻博士課程（Ph.D.）立教大学文学部文学専攻英米文学専修で助教として勤めた後、亜細亜大学経済学部経済学科に専任講師として着任。現在、亜細亜大学経済学部経済学科准教授。

共著書に『ホーソンの軌跡——生誕二百年記念論集』（開文社出版、2005年）、『変容するアメリカ研究のいま——文学・表象・文化をめぐって』（彩流社、2007年）、『〈風景〉のアメリカ文化学』（ミネルヴァ書房、2011年）、『アメリカン・ルネサンス——批評の新生』（開文社出版、2013年）、『アメリカ文化55のキーワード』（ミネルヴァ書房、2013年）、『ホーソンの文学的遺産——ロマンスと歴史の変貌』（開文社出版、2016年）。論文に「「自然」への道程——*The Blithedale Romance*におけるジェンダー・ストラテジー」（『アメリカ文学研究』第39号、2003年）、「“A Text of Deep and Varied Meaning”: Nathaniel Hawthorne, “The Story Teller,” and the Making of the American Subject」（*Studies in English Literature* 第51号、2010年）、「未完の再生——『大理石の牧神』のホーソン後期作家経歴における意義」（『英文学研究』第92巻、2015年）などがある。



《主催》文部科学省科学研究費助成事業基盤研究 15k02349 「モダニズム文学形成期の慶應義塾の介在と役割」

《共催》慶應義塾大学藝文學會、慶應義塾大学アメリカ学会

*Photos: Edgar Allan Poe (日本ポー学会HP) /Nathaniel Hawthorne (日本ナサニエル・ホーソン協会HP)/藤村希 (本人提供)